

第1回富山県動物管理センターあり方検討会 主な意見

日 時：令和5年7月14日（金）10:30～12:00

場 所：富山県民会館 611 号室

議 事：会長として久保委員を選出、会長職務代理者として小峠委員を指名

<主な意見>

1 厚生センター業務の集約の必要性

- ・ 他自治体は、中核市と共同設置しているところがあるが、動物愛護センターに機能を集中させることで、サービスが向上する部分と低下する部分があるが、サービスが低下しないよう県と市で工夫を検討していくことが必要かと考える。
- ・ 厚生センター職員は、動物愛護管理業務の他、感染症や食品衛生関係、環境衛生関係等多岐にわたる業務を行っている。その中で動物の苦情に対応し、また、近年の動物愛護法改正による動物取扱業者への指導事項の増加もあるため、職員にかかる負荷は大きい状態である。業務の質の低下を起こさないために一定程度の集約化が必要と考える。
- ・ 厚生センター職員が様々な業務をしている中で、人手不足もあり、高齢者が飼えなくなった等の相談を一つ一つ対応することは難しいと感じるため、愛護団体をうまく活用していただきたい。愛護団体がどこまで関わってよいか明確に分担していただければ、協力しやすいと考える。

2 これからの動物管理センターに求められる役割・機能

- ・ 動物管理センターで譲渡をしていることを知らず、動物を処分する施設と考えている人が多い。SNS を上手く活用し、例えば、ワンアクションで動物管理センターのページにアクセスできて、どんな保護動物がいるのか、何をやっているのか等を動物の適正飼養も含めて発信することも、動物愛護の普及につながるのではないかと考える。
- ・ 動物を飼っている人だけでなく、飼っていない人も含めた県民全体のメリットも考える必要がある。愛護思想や適正飼養を普及することで、子供たちが命を大事にすることを学び、県民の豊かな心の育成につながる。これは、動物を飼っている、飼っていないに関係なく役立つ。ワンヘルスについても、人獣共通感染症についての情報は、飼い主だけの問題ではないため、情報発信することで動物を飼っていない人にも伝わる。動物を飼っていない人へのアプローチも考えられるとよいのでは、と思う。

3 新設又は改修の必要性

- ・ 災害時や高齢者の入院時に、動物愛護団体や親戚につなぐまでの数日間、ペットを預かる場所がなくて困っている住民のための一時預かり機能があればいいと思う。
- ・ 現在の動物管理センターは限界に近づいている。改修や新築については、コンセプトを固めてから検討するとよいと考える。コンセプトが固まれば、必然的に結論もでると思う。